



NHKスペシャル

2030 未来の分岐点(1)

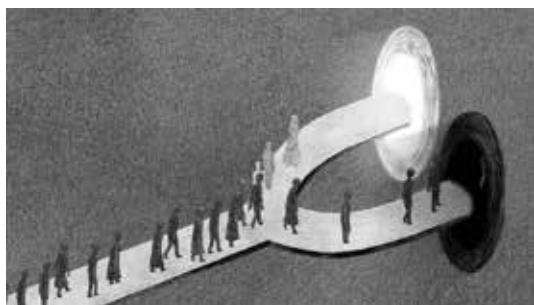
「暴走する温暖化“脱炭素”への挑戦」

放送日:2021年1月9日 放送時間:59分

対象校種 小学校高学年 中学校 高校

対象教科 総合 社会 理科

この番組の良さ



● 2030年までの取組が未来を左右する

40℃を超える極暑、猛暑日になるのは44日間など、温暖化を放置した場合の2100年の東京を具体的な数値で示し、タイムリミットの2030年までに我々人類が抱える課題(資源の大量消費、人口爆発と食糧問題、加速する温暖化など)について、どう乗り越えるのか、その道筋を探るシリーズになっています。都市を真っ赤に染める山火事、暮らしを根こそぎ奪う大洪水、激しさを増す台風など、温暖化は新たなフェーズに入り、人類の存続を脅かし始めています。このまま問題を放置するとどうなるのか?最新のシミュレーションをもとに、待ち受ける暗黒の未来を映像化しています。危機を回避する手立てはあるのか?世界のキーパーソンたちが緊急提言します。

● 平均気温1.5℃上昇が限界点

産業革命前の時代と比較し、平均気温が1.5℃上昇すると地球が暴走し始め止められなくなるという科学的根拠が示されます。番組では今の若者ができる対策への行動を示します。

番組活用のポイント

● 地球温暖化の現在と未来の影響を知る

今なお続いている地球温暖化。その影響は現代に顕著に表れてきています。国内ではスキー場の経営不振、極暑による熱中症患者の増加、台風や集中豪雨など甚大な被害があります。また、世界に目を向けると、グリーンランドの氷床や永久凍土の融解、オーストラリアやカリフォルニアの山火事など地球規模の影響につながっています。氷が溶け、海面が上昇することはよく耳にしますが、永久凍土が溶けることによるウイルスの出現によって、今後新たな感染症の危険があるという事実もこの番組で紹介され、2030年までの取組の重要性と深刻さがうかがえます。そして、1980年と現在の気候によって起こる自然災害のシミュレーションが確認でき、地球温暖化の影響による被害状況の違いがはっきりと理解できます。科学的根拠に注目しながら活用を進めるとよいでしょう。

● 2030年までにできることは? 社会や若者がすべき行動を考える

EU委員会は、経済成長と温暖化対策を両立させるグリーンディールに2030年までに120兆円を投資すると発表しています。ある電力会社は多額の投資をし、再生可能エネルギー企業に生まれ変わり世界市場に打って出ようとしています。グレタ・トゥーンベリさんの気候ストライキのように、今や世界中の若者たちが、今の社会を動かしている大人たちに向け、温暖化対策を求める声を大きく発信しています。環境への対策、その活動は、次の世代の持続的につながることにつながります。

NHKサイト「地球のミライ～持続可能な社会へ～」(<https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0019/>)があります。このサイトでは、2030年までに起こすべき様々なアクションや事例を学ぶことができ、持続可能な社会に関する学習に活用することができます。



執筆者
宮古島市教育委員会
教育研究所
指導主事 座間味浩二